



思いやりも日本の国技に

連日、東日本大震災に関する内容が報道されています。いまだに続く余震の恐怖、原発による被害の拡大など、改めて地震の恐ろしさを思い知らされました。その一方で、9日ぶりに救出された祖母と少年の知らせや仮設住宅の着工など、少しずつ希望の灯りが見えてくるようなニュースもありました。

そんな中、TVのCMなどでは、復興に向けてひとつになろうとしている日本を応援する、上のようなメッセージも数多く流れています。また、四国新聞「一日一言」に、次のような一文もありました。「阪神大震災と同じだ。混乱の中でも順番を守る規範意識、救急隊員に面倒をかけたとわびる気遣い…東日本大震災の被災者を、海外メディアがそろって称賛している。日本人の誇るべき気質は今も変わっていない」。その一例を紹介します。改めて、日本人のすばらしさを見つめ直すこともできました。

【中国】 地震多発国で東日本大震災への関心が高い中国では、非常事態にもかかわらず日本人は「冷静で礼儀正しい」と絶賛する声がインターネットの書き込みなどに相次いでいる。短文投稿サイト「ツイッター」の中国版「微博」では、ビルの中で足止めされた通勤客が階段で、通行の妨げにならないよう両脇に座り、中央に通路を確保している写真が投稿された。「こうしたマナーの良さは教育の結果。（日中の順位が逆転した）国内総生産（GDP）の規模だけで得られるものではない」との説明が付いた。この「つぶやき」は7万回以上も転載。「中国は50年後でも実現できない」「とても感動的」「われわれも学ぶべきだ」との反響の声があふれた。中国紙環球時報も「日本人の冷静さに世界が感心」との見出しで大震災を1面で報じた。

【米国】 史上希にみる無惨な被害に遭った日本国民の冷静さや沈着ぶりを驚くべきことのように伝える米国側の報道だった。これほどの被害に遭いながらも、なお日本人はパニックには陥らず、秩序を保ち、礼儀さえ保って、お互いを助け合っている、というのだ。共に助け合っていくという共同体の意識でしょうか、調和を大切にする日本社会の特徴でしょうか。みんなが正直さや誠実さに駆られて機能しているのです。

さて、詫間中学校生徒会でも、「今の自分たちにできること」として、募金活動を行っています。“「こころ」はだれにも見えないけれど「こころづかい」は見える。「思い」は見えないけれど、「思いやり」はだれにでも見える”という言葉は、学校通信No.35(12月9日発行)で紹介した言葉であり、最近のCMでも頻りに流れていますが、まさに募金をするという行為は、「こころづかい」「思いやり」が表れた行為だと言えるでしょう。しかし、その気持ちは、被災された人々だけに対するものではなく、自分たちの周りにいる人にも伝えていかなければならない大切なものです。上の記事にも書かれている「マナーのよさ」「正直さや誠実さ」をぜひとも日常生活の中でもしっかりと発揮してもらいたいものです。

次年度4～5月の主な予定

次年度の主な行事については、学校通信No.41(2月3日発行)に掲載しましたが、4～5月の主な行事を紹介します。今後変更になることもありますので、正式に決定しましたら次年度改めて文書でお知らせします。なお、4月19日(火)に実施予定だった全国学力・学習状況調査は、9月以降に延期になりました。

- ◆ 4月 7日(木) 入学式
- ◆ 4月19日(火) PTA役員会・評議員会 ※15日(金)の予定でしたが、変更になりました。
- ◆ 4月21日(木)～26日(火) 家庭訪問
※今年は、松崎(21日)→箱浦・大浜(22日)→詫間(25・26日)の順番で実施する予定です。
- ◆ 4月29日(金) PTA総会
※午後から、参観授業、PTA総会、部活PTAを予定しています。振替休日は5月2日です。
- ◆ 5月11日(水)～14日(土) 修学旅行
- ◆ 5月29日(日) 体育祭 ※28日(土)は準備のために登校し、振替休日は30・31日です。

詫間中学校に関するアンケートから ～1年生編～

「浦島デー」についての意見・感想

- ◆ 1年間いろんな野菜を無農薬で作れたことはとても素晴らしいことだと思います。
- ◆ 授業参観では、農家の方々が毎日の労働に対して薄利でブロッコリーを作っていることがよくわかりました。ただ資料を見て考えるだけでなく、インタビューのビデオを見ながら考えたり、2人の先生で授業をしてくださったりと、子どもたちに楽しく授業を受けさせ、参加させる授業になっていたと思います。
- ◆ 金銭教育を大変興味深く見させていただきました。特に、ブロッコリー生産者の方のインタビューは、消費者である私にも伝わってくるものがありました。今後もぜひこういう時間を設けていただけましたら子どもにとっても大事な要素となってくれるに違いないと思います。
- ◆ 給食試食会に参加させていただきました。子どもたちは毎日おいしい給食を食べさせていただいているのだなあと思って改めて感謝いたしました。ブロッコリーの値段を決めていく段階がとても面白く、親も興味を持って見させていただきました。
- ◆ 給食試食会は、子どもたちが日頃どのような給食を食べているかがわかりよかったです。子どもたちの考えたメニューでしたが、バランスを考えていて、味も良く、大変おいしくいただきました。楽しい試食会でした。次回もお願いします。
- ◆ 給食試食会に参加して、子どもたちの給食の量を実際に感じ取ることができてよかったです。毎学期ごとに実施してほしいです。(準備する方々にとってはお手をかけます。すみません)

「浦島伝説」についての意見・感想

- ◆ 先生方の思いや子どもたちの様子、他の保護者のご意見などが掲載されていて、関心をひきます。
- ◆ 毎回タイトルを考えて、わかりやすく書いていると思います。子どもたちの生活や部活など、行事についてもこんなことがあったんだと読みながら感じています。
- ◆ 時節柄にふさわしい内容で、いつも楽しく拝見しています。マラソンは想いが伝わってきました。
- ◆ 「走ることのススメ」を毎回楽しみに読ませていただきました。何事にもあきらめず再度チャレンジ、自分に負けないという精神を教えられた気がします。先生方の体験談やおもしろいお話があれば載せていただきたいです。

1年間を振り返っての感想や学校への要望

- ◆ 「僕はこのクラスが好きやきん、3年間同じクラスがええわ」と子どもが家でよく話してくれます。クラスも落ち着いていて雰囲気もいいようです。先生が子どもたちに対して、些細なことでもほめてくださっているみたいで、子どもたちにとってはとても嬉しいようです。次もがんばろう！今度はこれをしてみよう！と、自信を持って少しずつ前へ進めているようです。
- ◆ 少人数の学校から入学したので、友達ができるかなと心配していましたが、すぐにたくさん友達できて、毎日楽しそうでした。
- ◆ 学級担任の先生には1年間を通じて、子どもの目線に立ち、ご指導いただきありがとうございました。細かい所なども見てくださり、大きなトラブルもなく、1年間安心して過ごせた気がします。もし可能ならば、一日参観を作してほしいと思います。
- ◆ 外部から学校を訪れる人にもっと積極的にあいさつができれば、雰囲気もさらに良くなると思います。
- ◆ 先生方が生徒一人一人にきちっと対応してくれていると実感する一年でした(問題が起きたときの対応など)。カメ検タートルノート、生徒会によるボランティア活動など、新しい試みもとてもよかったです。
- ◆ 野菜作りがとてもよかったです。家でも野菜の話をする機会が多く、いただいた大根も葉っぱも全部料理して食べました。子どもももったいないということも学んだと思います。
- ◆ 入学してあっという間の1年でしたが、楽しそうに学校へ行くのを見ていると、親としてホッとします。これも充実した学校生活を送れているということで、校長先生をはじめ先生方には感謝しています。
- ◆ 桜の頃に入学して、暑い夏を過ぎ、25年ぶりの雪、あっという間の1年でした。長いようで短かったと思います。子どもたちが成長するとともに、保護者である親も成長していきたいです。
- ◆ 1年間、なんとか終わろうとしています。冬になり、寒いし甘えも出て自転車で行かない日々が続いていますが、元気に通っているのになによりです。
- ◆ 普通の授業の様子を自由に見学する機会があればいいと思います。